

2025年8月

からし種

カトリック片瀬教会



暑中お見舞い

ブランチフィールド神父

7月31日、暑い夏が真っ盛りです。昨日は突然の津波警報でびっくりしましたが、幸い何事もなく無事でした。

いつもの夏ならば、信徒のみなさんに暑中見舞いのカードをお送りするのですが、今年はひんぱんなお医者さん通いなどもあって手がまわらず、失礼してしまいました。この場を借りて、暑中お見舞いを申し上げます。暑い夏ですが、神様の恵みを得て、平和に、健康に過ごせますように。

ご存知の方も多いと思いますが、私は8月19日に股関節の手術をすることにしました。「今は技術も進歩して、終わったらふつうの生活ができるようになります。人生が変わりますよ」とお医者さんは勇気づけてくれます。9月に戻ってくるときには、走っているかも知れません（笑）。

この夏がみなさんにとって恵みの多い夏でありますように、お互いのために祈りましょう。



2025 年 8 月度 教会委員会報告

開催日時：2025 年 7 月 13 日(日) 11 時 40 分～13 時 10 分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、副委員長、副委員長、財務、監査、総務、
宣教司牧、福祉、広報、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、
シャルル聖パウロ修道女会、聖母訪問会、書記
※コミュニティ代表者：(A)、(B)、(C)

□ブランチ神父のお話し

私の脚の事です、火曜日に先生の意見を聞きに行きます。手術で治る見込みがあるならします。祈って下さい。片瀬教会のために祈っていることはコミュニティがさらに成長するということなのです。老人が多いが、居ると分かったら隣人のように挨拶し出来るだけ共同体のメンバーであることをわかってほしいです。以前は教会活動等にも活躍されたことでしょう、受洗されているのはどのようなことであれ教会の一員です。また、一人だけ信徒という方の家族のために教会は温かい心を示してほしいです。「ファミリーナイト」のようなものをやってお誘いしてみたらどうかと考えています。

□全体の報告および連絡事項

1. 横浜教区 信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会 テーマ「希望の巡礼者」(6/14、於：中原教会)。片瀬教会からの参加者は2名。午前中は鈴木神父(山手教会)による巡礼についてのお話し、その後グループに分かれて分かち合い、ミサを捧げ、グループ発表を兼ねた茶話会 鈴木神父(山手教会)による巡礼についてのお話しの資料を添付した。
2. 7/6 8時、10時ミサ後、自衛防災訓練を実施。
3. 6/22 第5地区共同宣教司牧委員会(大船教会)
 - 1) 各部門の活動報告及び予定
伝える部門：4/27 福音宣教のふさがれた道と開かれた道(使徒言行録)をふまえ、霊における会話をを行った。次回は7/27。
証し部門：第5地区の7教会と近隣由比ヶ浜との福祉交流会を、6/21 鍛冶ヶ谷にて実施。次回交流会は片瀬と由比ヶ浜教会が当番でテーマを決めることになっている。場所は藤沢教会。
祈る部門：3/30 片瀬で2時間おこなった。レクチオ・ディヴィナ(霊における対話)を行い、2回目は片瀬で6/29に行われた。次回は8/31 2時から片瀬で行われる予定。
 - 2) 9/27、28(於 軽井沢教会)第15回横浜教区懇談会 テーマ「ラウダート・シ・ゴールズ」に取り組むための準備 とともに暮らす家を大切に作る旅」、第5地区から河野神父(藤沢)、柳下委員長(中和田教会)、松本さん(戸塚教会、証し部門から)の3名が出席して下さる事となった。
 - 3) 委員長の集まり
各委員長との情報交換の場として、司祭の参加前提でという事で委員長の集まりを再開する事となった。

4) 大船教会創立 75 周年にあたり 11/3 (祝)梅村司教司式の記念ミサ、その後懇親会を予定しているので第5地区の司祭、及び委員長を招待する。

4. カトリック平和旬間(8/6～15日)の取り組み

- ・「祈りのリレー」表を作成して、記入してもらう。
- ・今年は戦後 80 年であるので、それに際し、8 月中はミサ前にロザリオの祈りを唱える。8 時と 10 時のミサ前それぞれ 7 時 45 分、9 時 45 分から(係は典礼の方と池尾さん)

以下はランチ神父と打ち合わせ済(典礼委員とも確認)

- ・8/8(金) 9時半のミサ後、12 時頃迄 聖体顕示を行う。
- ・8/10(日) 10 時のミサ後、12 時頃迄 聖体顕示を行う。その後教会委員会を行う。

5. 8/15(金) 聖母の被昇天

- ・16:30～聖堂にて、ミサ終了後にマリア像の前で短いお祈りをする。
- ・マリア像での祈りの後「平和の祭り」と称し、子どもも大人も親睦を図れる懇親会を行う。懇親会の実行委員は7/13 から募っている。

□各部会からの報告

総務部

- ・8/9(土) S 学園が道路側の駐車場フェンスに防犯カメラを取り付ける工事を実施。
- ・8/9(土) 15:00 カラカサンという団体(山口神父)のミサあり。

宣教司牧部

8 月のカフェつみびとはお休み。

福祉部

- ① 6/21 近隣教会福祉交流会に 2 名出席。第5地区7教会+由比ヶ浜教会参加。「小教区の壁を越えて神の愛を証しする力を培おう」各教会、修道会の活動報告があった。
- ② 7 月から始まる夏のあらゆる依存症の更生を推進している団体 9 団体の宿泊研修会対応の為に 7/7 バルサンを焚いて準備をした。7/16 東京ガスの点検を依頼している。研修会期間中(7/22～30、8/12～14、19～20)信徒会館の冷蔵庫は空けておくこと。また、余計は物を置かないこと。

教会学校

第5地区教会学校サマーキャンプ(7/31～8/2、函嶺白百合学園パウロ館)片瀬からは 5 人の子どもが参加する。教会からの補助は、子ども@5,000 円×5 人、リーダー@7,000 円×2 人 計 39,000 円

中高大青会

6/22 スポーツ施設に行きスポーツと通しで中高生会内部の交流を深め、その後、山手教会巡礼に行ってきた。山手教会のミサの中で紹介され、高校生リーダーと交流ができた。また、カトリック学生連合の人たちも来ていて交流会ができた。

一粒会

10/13(月・祝)に開かれる第 57 回横浜教区一粒会大会の案内と参加申込表を掲示した。片瀬教会での申し込み期限は 8 / 3 (日)迄とする。

市内キリスト教連絡会

- 1) 市内キリスト教連絡会の合同祈祷会が 8 / 2 (土) 14～15 時 藤沢バプテスト教会にてあるので参加してください。
- 2) 藤沢市民クリスマス 12/13 テーマ「平和を 愛をすべての人へ」今年はプレキャロリングはしない。
- 3) キリスト者一致のための合同祈祷会 日時：2026/ 1 /24、
場所：日本基督教団 藤沢北教会

各コミュニティから

Aグループ 8/15「平和の祭り」の食事、ソフトドリンクを担当。準備を進めている。

Bグループ 8月はカフェを休む。AとCグループは通常通り行う。

福祉団体応援マーケット

- ・「焼きそば天国」200 食提供。収益は献金先検討中。
- ・飲物が不足していた。教会からお茶等を提供してもよかった。
- ・中高大青会、教会学校は福祉団体と交流ができてよかった。

その他

- ・車椅子タイヤ修理は、2 台 5 万円程の見積

□検討・討議事項

1. 「平和の祭り」係決め

- ・別紙資料にてスケジュール、内容を検討した。
- ・チケットは昨年同様、大人 500 円、中高大生 300 円、小学生以下 0 円とする。
- ・色々な役割を自主的に手を挙げてやってほしい。応募表を 7 /13 より掲示している。

2. 営繕プロジェクト

7 / 6 営繕プロジェクト第 1 回を開催

- 1) 教会外看板は、文字に彫りのあるものとした。(見積 184, 800 円)
- 2) 新規掲示板(見積 298, 000 円)の設置位置は郵便ポストの脇とする。
但し、現在の掲示板修復ができてその活用度を確認してから発注することになった。
- 3) 聖堂外壁塗装については、全周囲改修することで古民家に詳しい藤本氏に再見積を依頼することにした。
- 4) 信徒会館前の共用トイレ天井の雨漏りがひどく、電球にも影響していることが判明。即天井雨漏り修理を依頼すると共に、電気配線の点検補修も行う。

次回委員会開催 8 月 10 日

テゼの祈り

エキュメニカル（超教派）な「地上における信頼の巡礼」

7月8日(火)午後7時(開始 10 分前から歌の練習)より、片瀬教会にて「テゼの祈り」が開催されました。いつもの祭壇の前に、イコン「キリストと聖メナス」（テゼ共同体の創始者ブラザー・ロジェが特に愛したテゼのシンボル）が置かれ、床に並べられた小さなロウソクが灯ると…祈りは始まりました。

今回は、そのプログラムを紹介したいと思います。

まず、ギターの弾き語りのリードのもと、短い聖句の繰り返しで3曲歌われました。

※主に頼る人は幸い 主に希望を置く人

※聖霊がわたしの中で歌い 聖霊がわたしの中で祈る

※神は愛 その愛を生きてゆく 神は愛 恐れずに

これらの聖句が知らないメロディーに乗って歌われますが、何度も繰り返し聴いているうちに、自然と口ずさむことができます。これは「何度も何度も飽きるほど歌った時、色々な考えや雑音が削ぎ落されてゆき、はじめて自分の内側でイエスがすでに祈っていてくださることに気が付くのです。」というテゼの教えによるものです。

そして、詩編朗読

※わが心たたえよ主を 命の主 聖なるみ名

※アレルヤ

福音朗読

沈黙と続きます。沈黙により、聴いた言葉、歌った言葉が心の中で共鳴し、より深い祈りへと繋がります。その後、2曲歌われました。

※清い心で清い心で 主を呼び求める人々と共に 平和を平和を求めなさい

※与えたまえ平和を

共同祈願 代表がおもに世界平和を願い、マイクを回して有志がそれぞれに祈願しました。

※主は種をまく 光の種を 主は種をまく 喜びの種を

※主の祈り（テゼでは埼玉教区の塩田泉神父作曲のものが歌われます）

祝福（日本キリスト教会 鎌倉栄光教会 白石献牧師）

※神の国は近づいた 神の国は近づいた 狭い門から入りなさい 神の国は近づいた

※何も持たずに行きなさい 喜びの便り告げに 信頼の火ランプに灯して 恐れず巡り行きなさい

【※の聖句は、すべてメロディが付いていて歌います】

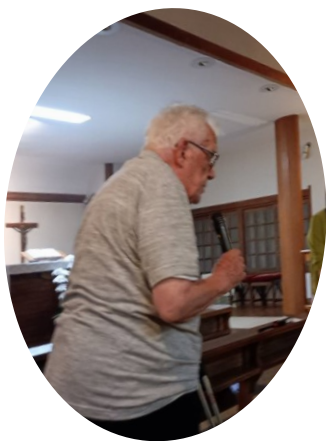
最後の歌とともにロウソクの火を消して、プログラムは終了となりました。聖堂には教派を超えたキリスト者 40 名近くが集まり、和やかな雰囲気には溢れていました。この集まりを主催して下さったカトリック藤沢教会の皆様、選曲にも「ケルトのアレルヤ」を選ぶお心遣いに感謝いたします。朝から会場準備等して下さった片瀬教会の O ご夫妻、ロウソクをご寄付くださった T 氏、そしてランチ神父さまをはじめ参加して下さった皆様、ありがとうございました。

これからも「テゼの祈り」の活動が、黙想や祈りの助けになり、また教会一致のあこがれへの源泉となることを願い、一人でも多くの方に参加して頂きたいと思います。

編集部 小泉英子



聖堂に集まった各宗派のキリスト者の皆様



ご挨拶されるランチ神父



祭壇前に置かれたキリストと聖メナスのイコン

“福祉団体応援マーケット” 開催！ 「御礼もうしあげます」

6月29日「聖ペトロ聖パウロの祝日」、未だ6月なのに梅雨明け宣言が出された日！ 皆様のご協力のお陰で無事「福祉団体応援マーケット」が開催されました、心より感謝申し上げます。ほんとうに暑い！あつい！あつい日でした。みなさんありがとうございました。前日のテント張りや机椅子のセッティングから案内カードを貼って会場造りを手伝ってくれた可愛い天使ちゃん・中学生・高校生・大学生・お父さん・お母さん・紳士のおじさま・おばさまたち、本当にありがとうございました。当日熱中症の方が出た場合に備えてマーケットの最後まで待機して下さった信徒の元看護師さんありがとうございました。又、駐車場が修道院だけでは足りなくて困っていたら快く駐車スペースを提供して下さいました信徒の方々、心よりありがとうございました。お陰で道路脇をミサに与る方々に開けられました。思い起こせば27年前、それまで教会バザーと一緒に参加していた福祉団体が参加出来なくなりました。片瀬教会バザーに出店していた団体は皆小さい団体で、それぞれの活動資金を得る為に必死に場所を探していました。それで当時の福祉部のKばばさんが「だったら別の日に開催しましょうよ」と福祉バザーという形で動き出したのが始まりです。それ以来毎年教会バザーは秋に、福祉バザーは春にという感じでずっと福祉部でお手伝いをしてきました。それを昨年から名称を変え、教会の皆様との共催という形で再出発！ 来場者がそれぞれの団体に直接話しをして情報を得たり、沢山の方々に団体の存在を知って頂いたり！そして団体同士の情報交換の場になったり、沢山のお恵みがありました。

その中の一つ、障害者が活動している団体（キッチンカーで参加した「あぐにーる」）から

◇昨年に引き続き福祉団体応援マーケットにてパン販売をさせていただきありがとうございました。当日は天候に恵まれ暑い陽気でしたが、沢山の方々が足を運んで下さり皆様にお会い出来良かったです。新作の甘夏みかんデニッシュは沢山の方から好評の声を頂きました。ありがとうございました◇

ベトナム支援の活動、カンボジア支援の活動、南米の方達への支援活動、障害者支援の活動、盲導犬関連の支援の活動、釜ヶ崎支援の活動、寿町支援の活動などなど、前教皇フランシスコが「外に出ていきましょう 小さくされた人たちに寄り添いましょう すべての人に開かれた教会でありましょう」と体を張って呼びかけられたことを思い出しながら、片瀬教会の皆様の沢山のご支援ご協力に感謝しています。あつ〜い中、本当にありがとうございました。

応援マーケット担当 相澤純子

中高大青会遠足

丸田美緒

6月22日(日)に中高大青会で遠足に行ってきました。行き先は、川崎のスポーツ施設の“スポッチャ”と山手教会へ行き子供ミサに与り、ミサ後には山手教会の中高生との交流を行って来ました。当日は早朝に出発をし、まずはスポーツ施設へ行きました。サッカー、テニス、バレーボール、野球にロードバイクと盛り沢山のスポーツを行い沢山の汗を流し、皆でとても良い交流と時間を過ごす事が出来ました。

それから、大急ぎで山手教会の子供ミサへと向かい、到着すると「ようこそ片瀬教会の皆様」と1番前の席にご案内をして下さり、鈴木真神父様がミサの中で「今日は片瀬教会の中高生会の皆様が遠足にいらして下さいました」と私たちをご紹介下さり皆様から温かい拍手で歓迎をして下さりました。山手教会の子供ミサでは、神父様が絵本を読んでも下さり、とてもユーモアたっぷりにお芝居調でお話を読み進め、次第にお話の世界へと夢中になっていきました。その日の絵本は「ハリネズミのお医者さんとおばけのこ」でした。

神様の温かさがよく分かるとても優しいお話でした。ミサ後には、山手教会の中高生会と交流を行いました。丁度、教区の高校生大会の実行委員の子たちも集まっており、沢山の子たちと交流を行う事が出来ました。皆活発に教会の行事に参加をしており、片瀬教会の中高生会もこれから他教会の仲間との輪が繋がって行き世界が広がって行く事が出来たら良いなと感じました。

その後、みなとみらいを散策し、気持ちの良い風が吹く中、皆で色々な事を語り、普段とは違う1日を過ごす事が出来、とても実りの多い遠足を行う事が出来ました。神様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。どうぞ子供たちの未来が幸せいっぱいな世界でありますように。いつもお導きくださりまして感謝申し上げます。



教皇のお名前——名は体を表す〔3〕

K. N.

「壁を作るのではなく、橋を架ける」と常に呼びかけていたフランシスコ教皇は、教皇名として、アッシージの聖フランチェスコを選ばれたことは余りにも有名です¹³。フランシスコ教皇の歩みは、聖フランチェスコの生涯と重なり合う場面が多々あったように感じます。文字通り裸一貫から「キリストの貧者」として始まった聖フランチェスコの「小さき兄弟会(フランチェスコ修道会)」の姿は、フランシスコ教皇のニックネーム「貧しき者たちの教皇 il Papa dei poveri」を彷彿とさせます。この「貧者」には、貧しい人だけではなく、社会的に虐げられている人々も含まれます。例えば、即位後すぐの洗足式では、少年院(ムスリムや少女を含む)でなされ、その後では、正教徒、仏教徒、ヒンドゥー教徒、コプト教徒(非カルケドン派)にも洗足の儀式が行われたことから判ります。

映画『ブラザー・サン、シスター・ムーン』で描かれるごとき聖フランチェスコと聖キアラー(クララ)との交流は¹⁴、フランシスコ教皇がバチカンの人事に女性を多数起用し、重要な役職に登用したことやLGBTQ+の人々にも教会の扉は開かれているとおっしゃったことを想起させてくれます¹⁵。

また、第5回十字軍(1217-1221年)が包囲しているエジプトの港市ダミエッタに聖フランチェスコは赴き、戦闘の中止を呼び掛けました。異教徒を殺すことで天国に行くことができるという常識であった不寛容な時代には、聖フランチェスコの行動は驚異的なことであり、賞讃すべきことといえましょう。聖フランチェスコは福音を伝えるため、戦闘が続くダミエッタにいるスルタン(ムスリム君主)アル＝マリク・アル＝カーミルと会見しました。スルタンは大いに感銘を受け、多くの贈物を贈ったそうです。この話し合いの寛容の精神は、フランシスコ教皇最後の教皇祝福「ウルビ・エト・オルビ Urbi et Orbi(ラテン語で「都市〔ローマ〕と世界に」の意)」に相通じるものがあります¹⁶。また、このように海外で宣教する姿勢は、そもそも若き日に極東の日本での宣教を希望されたフランシスコ教皇が47回の海外司牧訪問を行い、66カ国に赴いたことから伺えます¹⁷。

聖フランチェスコの逸話で最も微笑ましいエピソードは、小鳥への説教や人食いオオカミと掛け合って村人と仲直りさせたりしたことでありましょう。この精神は、「太陽の讃歌 Cantio delle creature」に結実しています。すなわち、全ての被造物は神によって創られたものであり、人間は神の創られた世界から豊かな恵みを受けていることを高らかに謳っています。教皇ヨハネ・パウロ2世によってエコロジーの守護聖人とされたことが示すように、聖フランチェスコが自然界のものを「兄弟・姉妹」と呼ぶとき、人間も自然界の「兄弟・

姉妹」の一員であることを表しています。この考えを出発点として、回勅「ラウダート・シ Laudato Si」は、フランシスコ教皇によって発表されました(2015)。「ラウダート・シ」は、「太陽の讃歌」の冒頭「褒め讃えられよ、我が主よ Laudato si', mi Signore」からとられています。全ての生命や存在が兄弟姉妹であるなら、地球は「みんなの家」であり、環境問題は他人事ではなく、自分自身に直結する大問題であるがゆえに「人間的・社会的側面を明確に含むインテグラルなエコロジー Integral ecology」というメッセージをフランシスコ教皇は訴えられました。

註

- 13 コンクラーヴェの選出直後、フンメス枢機卿から「貧しい人を忘れないでください」との言葉を受けたフランシスコ教皇は、アッシージの聖フランシスコが脳裏に浮かび、その名を選ぶことにしたと、就任後初のインタビューで述べました(「教皇フランシスコのメディア関係者へのあいさつ(2013/3/16)」)(カトリック中央協議会 H.P.(最終アクセス: 2025/05/19))。
- 14 聖フランチェスコは、『訓戒』の中で、男女の扱いに違いを設けませんでした。中世史家フルゴーニによれば、神はアダムすなわち、人類を創造されたとしていると認識していたためです(キアラ・フルゴーニ著、三森のぞみ訳『アッシジのフランチェスコ——ひとりの人間の生涯』白水社、2004年、133-134頁)。
- 15 今年1月、Sr.シモーナ・ブランビッラが教皇庁奉獻・使徒的生活会省長官に任命されました。2023年、フランシスコ教皇の認可の許、宣言文「フィドゥチア・スプリカンス Fiducia supplicans」が発表され、同性によるカップルを祝福することが可能となりました。
- 16 「世界各地の様々な紛争の中で、どれほど多くの死が望まれていることでしょうか。どれほどの暴力が、家庭内や女性や子どもに対して、しばしば見られることでしょうか。最も弱い立場の人々や、疎外された人々、移民に対して、どれだけの軽蔑がはびこっていることでしょうか。今日この日、わたしたちが希望と他者への信頼を取り戻すことを望みます。(中略)イスラエルとパレスチナのすべての人々に寄り添いたと思います」また、この祝福では、レバノン、シリア、イエメン、ウクライナ、南コーカサス(アルメニアとアゼルバイジャン)、西バルカン諸国、コンゴ民主共和国、スーダン、南スーダン、サヘル地域(西アフリカ)、「アフリカの角」地域(ソマリアとエチオピア)、大湖地域(ブルンジ、コンゴ)、ビルマなど10数か国・地域について言及されている(「復活祭2025: 教皇フランシスコによるメッセージと祝福(2025/4/20)」(バチカン・ニュース H.P.(最終アクセス: 2025/05/13))。
- 17 2019年の日本訪問において、フランシスコ教皇は「日本への宣教の望みを覚えてから長い時間が経ち、ようやくそれが実現しました。今日、主はわたしに、[司教団の]皆さんと同席するという機会を与えてくださいました。わたしは信仰の偉大な証人の足跡をたどる、宣教する巡礼者としてここにおります。聖フランシスコ・ザビエルが日本に上陸してから470年が経ちます。ザビエルが、日本におけるキリスト教布教を始めました。彼を思い出しながら、皆様と心を合わせて主に感謝したいと思います」と談話を発表しています。
(「教皇の日本司牧訪問 教皇の講話 日本司教団との会合 東京・ローマ教皇庁大使(2019/11/23)」(カトリック中央評議会(最終アクセス: 2025/05/13)))。

柏渕氏の連載は当初3回の予定でしたが、紙面の都合により4回とさせて頂きます。次回が最終回となりますので皆様お楽しみに。

2025 年 8 月

☆教皇の意向：共 存

共存することがより困難に見える社会が、民族的、政治的、宗教的、またイデオロギー的な理由による対立の誘惑に負けませんように。

☆日本の教会の意向：平 和

広島と長崎に原子爆弾が投下されて 80 年を迎えるにあたり、私たちが今も世界各地で続く戦争の愚かさを悟って、平和への道を歩む勇気を持つことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
8/1 金	聖アルフォンソ（リゴリ）司教教会博士 記	9:30	ミサ後、金曜講座
2 土			平和のための合同祈祷会 14:00 於：藤沢バプテスト教会
3 日	年間第18主日	8:00 10:00	
4 月	聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭 記		
5 火			ローマの信徒への手紙を読む会 10:00
6 水	主の変容 祝		カトリック平和旬間(15日迄) 聖書と典礼を読む会 10:00
7 木			
8 金	聖ドミニコ司祭 記	9:30	ミサ後、聖体顕示
9 土			
10 日	年間第19主日	8:00 10:00	ミサ後、聖体顕示 9月度教会委員会
11 月	聖クララおとめ		
12 火			ローマの信徒への手紙を読む会 10:00
13 水			聖書と典礼を読む会 10:00
14 木	聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司祭殉教者 記		
15 金	✠聖母の被昇天	16:30	9:30ミサ、金曜講座なし 18:00「平和の祭り」
16 土			
17 日	年間第20主日	8:00 10:00	
18 月			
19 火			
20 水	聖ベルナルド修道院長教会博士 記		
21 木	聖ピオ10世教皇 記		
22 金	天の元后聖マリア 記		
23 土			
24 日	年間第21主日	8:00 10:00	
25 月			
26 火			
27 水	聖モニカ 記		
28 木	聖アウグスチヌス司教教会博士 記		
29 金	洗礼者聖ヨハネの殉教 記		
30 土			
31 日	年間第22主日	8:00 10:00	第5地区「祈り部門」14:00

◆お知らせ◆

○8月は特に平和のために祈る月にしたいと思います。ミサ開始15分前よりロザリオの祈りを一緒に唱えますので、よろしくお願いします。

○平和旬間の8月8日(金)9時半のミサ後、および8月10日(日)10時のミサ後からお昼まで、ご聖体を祭壇の上に顕示し、平和のために祈ります。皆様、ご参加ください。

○8月8日(金)、15日(金)の金曜講座はお休みです。

○19日(火)以降の各講座は8月いっぱいお休みとなります。

○ミサに関する予定は、変更する可能性がありますので、教会からのお知らせに十分注意してください。

福祉団体応援マーケット



2025 年8月号

発行 カトリック片瀬教会
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>